

「JAバンク茨城子ども食堂応援成2023」活動報告書

活動名	筑西 こども食堂事業
団体名	筑西 こども食堂「有りの実」
この活動で取り組んだ地域の課題や背景（※）	こども食堂を通じて「孤食」の子ども達を無くし、心も体も健康な子に育って欲しと願っています。又、高齢者と一緒に食事を楽しく頂き、明るい場所で過すような居場所作りをしています。地域の繋がりをもっと強める一方法として、今後も続けていきます。今後も利用者は、増えてくると思われます。
この活動の目的（※）	孤食の子どもを無くし、地域の中で見守られ快い居場所を作る事
活動の対象（※）	子どもとその親（保護者）、ひとり暮らしの高齢者
実施内容	・おせっかいなおばさん 5～6 人が交代で毎週月曜日に食事作り ・電話予約した親子や高齢者 3 5 名前後の利用者に食事提供 ・食事をしたり、おしゃべりをしたりゆったりとした空間を提供 ・毎週月曜日と月一回第二日曜日にランチを提供 ・今年度より藤ヶ谷コミュニティセンターで活動 ◆ 支援対象へのアウトリーチ方法 口コミ SNS など 他団体と情報共有など協力体制もとっていきます。 ◆ 助成対象経費の必要性 物価高により食材の調達が従来よりも困難になってきた。 利用者が多くなった。これらの理由により必要性を強く感じています。
活動実施後の成果	開催場所の変更により、利用者を多く受け入れられるようになり利用人数が 30 人弱から 35 人前後になり、地域の人々との関りが多くなりました。 11 月 10 日には筑西市が主催する「協働のまちづくりフェスタ 2 0 2 4」に参加し多くの方に活動の PR を行いました。筑西市内の 3 つの子ども食堂が力を合わせ手作り弁当を、1 つ 200 円で販売したところ、あっという間に 150 食が完売してしまい 10 食追加で、合計 160 食を販売いたしました。 来場者への PR ができたと思います。 地域の皆さんのご協力もあり、認知度も広がってきています。
今後の展望や新たに増えてきた地域課題	今年の 4 月より 10 年目に入り、藤ヶ谷コミュニティセンターで 2 年目になります。 地域の人々とかかわりも多くなりつつあります。細く長く展開させていただきます。 【会員の募集】 今後も継続的に会員の募集は必要不可欠。まちづくりフェスタに出て PR は出来た。

※ 申請書から転記いただいて構いません。

「JAバンク茨城子ども食堂応援助成」活動報告書

	今後も活動報告を行い協賛者を増やしていきます。 他団体との連携育成面では、視察や新団体の設立を検討している方などの見学受け入れなども行ってきました。今後も、このような相談には積極的に関りアドバイスしていこうと思います。 食品の調達については、昨今の物価高騰により調達コストが高くなる傾向にあるが、地元の生産者からの寄付もあり比較的抑えられています。今後も生産者とは寄付をいただけるよう連携を取っていききたいと思います。
寄付者への一言（※）	将来のあるかわいい子ども達に温かい心使いを頂き感謝しております。皆様の支援のおかげで多くの子供たちが安心して栄養豊富な食事を取る事が出来、健やかに育っています。私たち、有の実は単なる食事の提供に留まらず、子ども達に、人と人の繋がり、優しさを大切にできる子が育つ場となっています。今後とも有りの実へのご支援よろしくお願い致します。
自己評価 （いずれかに ○を記入）	A. 目標を超える成果を得ることができた ☒ B. ほぼ目標どおりの結果となった C. 残念ながら目標を達成できなかった D. その他（ ）
自己評価で C を記入された 場合、その理由	

※ 欄の大きさは自由に変えていただいて結構ですが、全体で 2 ページ以内となるようご配慮ください。

※ 活動の様子がわかる写真数枚のデータを別途ご送付ください。

※ その他必要に応じて補足書類をご提出ください。